

久留米市第 8 期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画 事業目標指標

1 事業目標指標の設定（案）

章ごとに各 2 つの「事業目標指標」を設定し、個別事業の評価は事業目標指標ではなく、事業の進捗状況等による評価とする。

《 1 章 健康づくりと介護予防の推進 》

目標指標	単位	R 1	R 3	R 4	R 5	設定の考え方
特定健康診査受診率	%	39.7	55.0	58.0	60.0	市町村国保の全国目標に準じたもの。
住民主体の介護予防の場の数	箇所	128	130	140	150	住民主体の介護予防活動をはじめとした、高齢者の社会参加の取り組みの身近な地域での広がりを示すもの。

《 2 章 積極的な社会参加・参画の推進 》

目標指標	単位	R 1	R 3	R 4	R 5	設定の考え方
シルバー人材センターの会員数	人	1,240	1,478	1,563	1,653	活動の基盤となる会員数の確保状況を示すもの。
単位老人クラブの活動回数	回	39,360	39,000	39,000	39,000	会員・クラブ数の減少に歯止めをかける視点で活動回数の現状維持を設定

《 3 章 住み慣れた地域で暮らすための支え合う仕組みづくり 》

目標指標	単位	R 1	R 3	R 4	R 5	設定の考え方
ふれあいの会訪問回数	回	241,612	256,000	266,000	276,000	支え合う意識を醸成した結果、どの程度支え合う行動につながったかを図るもの。
担い手づくりや生活支援サービスに取り組む校区数	校区	4	10	15	20	支え合い推進会議は、担い手が増加して、既存の活動の充実や新たな活動の創出などが進んでいることを最終段階のイメージとしており、その進捗を示すもの。

《 4 章 地域における多職種連携による支援体制の強化 》

目標指標	単位	R 1	R 3	R 4	R 5	設定の考え方
地域包括支援センターの相談件数	件	29,197	30,000	31,000	32,000	これまでの総合相談件数の伸び率をもとに算出
個別・地域課題検討ケア会議の開催件数	件	91	100	110	120	地域との連携についての進捗状況を示すもの。

《 5 章 災害や感染症への備えの強化 》

目標指標	単位	R 1	R 3	R 4	R 5	設定の考え方
避難所を住民と市が協働で運営する校区数	校区	22	30	38	46	全校区での協働運営を目標として設定するもの。
避難行動要支援者名簿への登録者数	人	6,107	6,300	6,500	6,700	年間3%の増加を目標とする。(死亡や施設入所による減も多いため200人増とする。)

《 6 章 認知症施策の推進 》

目標指標	単位	R 1	R 3	R 4	R 5	設定の考え方
認知症サポーター養成人数	人	32,825	33,000	33,500	34,000	これまでも順調に増加しており、今後も年間500名程度の伸びを見込むもの。
認知症カフェの設置数	箇所	6	7	9	11	認知症カフェの設置促進に向けた支援を行っていくことで、日常生活圏域で各1箇所の設置を目指すもの。

《 7 章 権利擁護の推進 》

目標指標	単位	R 1	R 3	R 4	R 5	設定の考え方
成年後見センターの相談件数	件	464	475	485	495	成年後見センターの周知度を図るもの。
生活自立支援センターの新規相談受付件数	件	1,131	1,020	1,020	1,020	市の相談件数は、国の基準を上回っており、これまでの実績の維持で設置するもの。

《 8章 生活環境の整備》

目標指標	単位	R 1	R 3	R 4	R 5	設定の考え方
有料老人ホームへの立入検査件数（累計）	件	62	32	52	62	8期計画期間中に全施設の立入調査を実施することで、状況の把握、適正管理に向けた指導を行うもの。
生活支援交通の導入校区数	校区	26	32	35	38	将来的には、全ての校区で生活支援交通を導入する目標として設定するもの。

《 9章 介護保険事業の円滑な実施》

目標指標	単位	R 1	R 3	R 4	R 5	設定の考え方
運営上の課題で「マンパワー不足」と回答する事業所の割合	%	61.3	57	54	50	通常、計画の2年目に実施している『介護サービス事業所調査』について、内容を抜粋して毎年実施し、毎年観測していく。
ケアプランチェック対象事業所数	事業所	23	24	24	24	給付適正化のために有効な事業であるため。